

# 「彦根市 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」<sup>※</sup> における令和5年度取組状況について

※…「彦根愛知犬上地域一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」より

令和6年12月  
彦根市

# 1 彦根市 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の概要

## 数値目標（減量目標）

令和13年度に、令和元年度実績値から15%の減量

- ・ 1人一日当たり排出量（g/人・日）に減量目標を設定  
令和元年度：880g/人・日 ⇒ 令和13年度：750g/人・日
- ・ 減量対象とするごみ種：「燃やすごみ」、「燃やさないごみ」<sup>※1</sup>、「粗大ごみ」

※1 彦根市ごみ分別区分上の「埋立ごみ」にあたります。  
以下「燃やさないごみ（埋立ごみ）」と表記します。

項目	令和元年度(実績値)			令和13年度(目標値)		
燃やすごみ	685	g/人・日	⇒	582	g/人・日	
燃やさないごみ（埋立ごみ）	32	g/人・日	⇒	27	g/人・日	
粗大ごみ	46	g/人・日	⇒	39	g/人・日	
資源ごみ・集団回収	116	g/人・日	⇒	101	g/人・日	
合計 <sup>※2</sup>	880	g/人・日	⇒	750	g/人・日	

※2 四捨五入の端数処理により、合計値が一致しない場合があります。

## 基本方針

- 基本方針1  
2 R（Reduce(発生抑制)・Reuse(再使用)）の推進
- 基本方針2  
適正なごみ処理の実施
- 基本方針3  
分かりやすい情報発信の推進
- 基本方針4  
市民・市民団体・事業者・市のコミュニケーションによる協働の推進

## 主なごみ処理施策

### (1) ごみ減量に向けた方策

#### 1) 市民の取組

- ①食品ロスの削減 ②生ごみの水切り ③簡易生ごみ処理（堆肥化）
- ④買い物での工夫 ⑤リユースショップへの出品 ⑥紙ごみの資源化

#### 2) 事業者の取組

- ①生産・流通・販売におけるごみ排出抑制 ②紙類の排出抑制・再生利用の促進
- ③食品廃棄物リサイクルの推進

#### 3) 彦根市の取組

- ①ごみ減量の具体的な方法の公開、PR ②多量排出事業者等に対する指導
- ③ごみ処理費用有料化の検討 ④使用済紙おむつ再生利用の検討
- ⑤紙ごみの資源化 ⑥彦根市廃棄物減量等推進審議会

### (2) ごみの分別、収集・運搬体制の適正化

#### 1) プラスチック類の分別

#### 2) 適切なごみ排出の管理

- ①分別区分の周知徹底 ②ごみ出し支援
- ③直接搬入の事前申請制 ④感染性廃棄物の適切な排出方法の周知

### (3) 環境教育・環境啓発、ごみ処理に係る情報提供

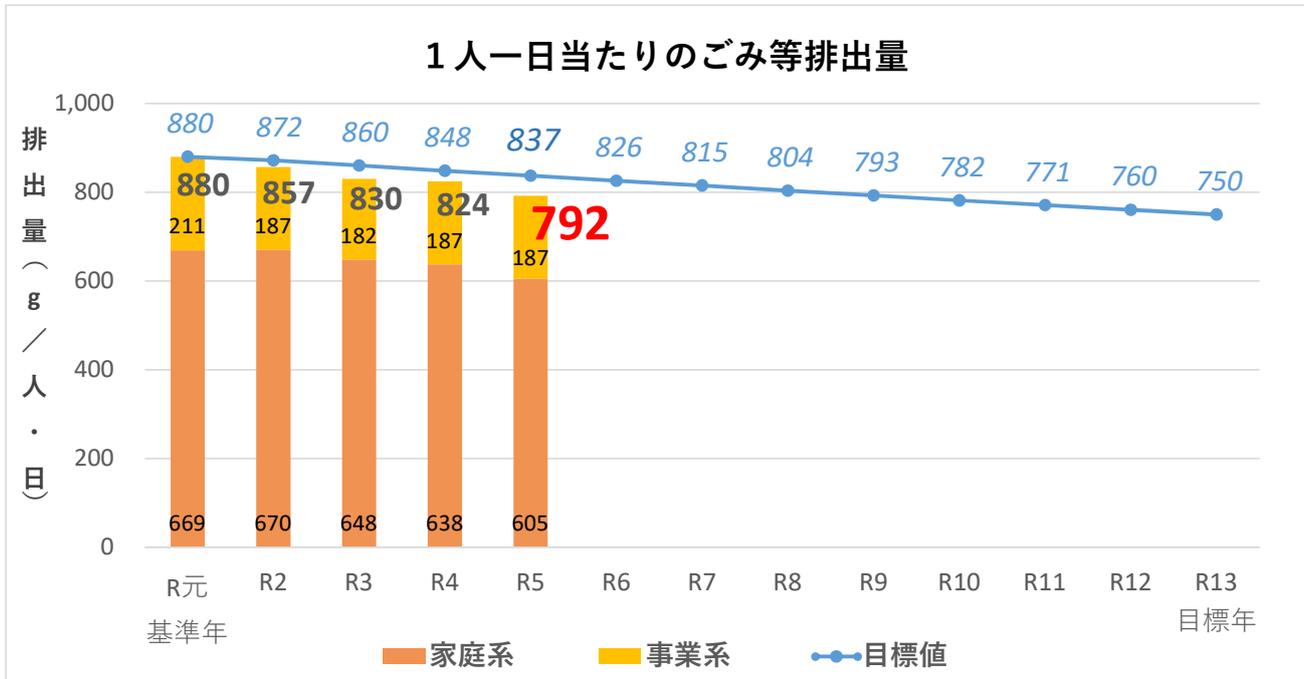
- ①環境教育・環境啓発、地域との連携
- ②ごみ処理に係る情報提供

### (4) 環境負荷の削減

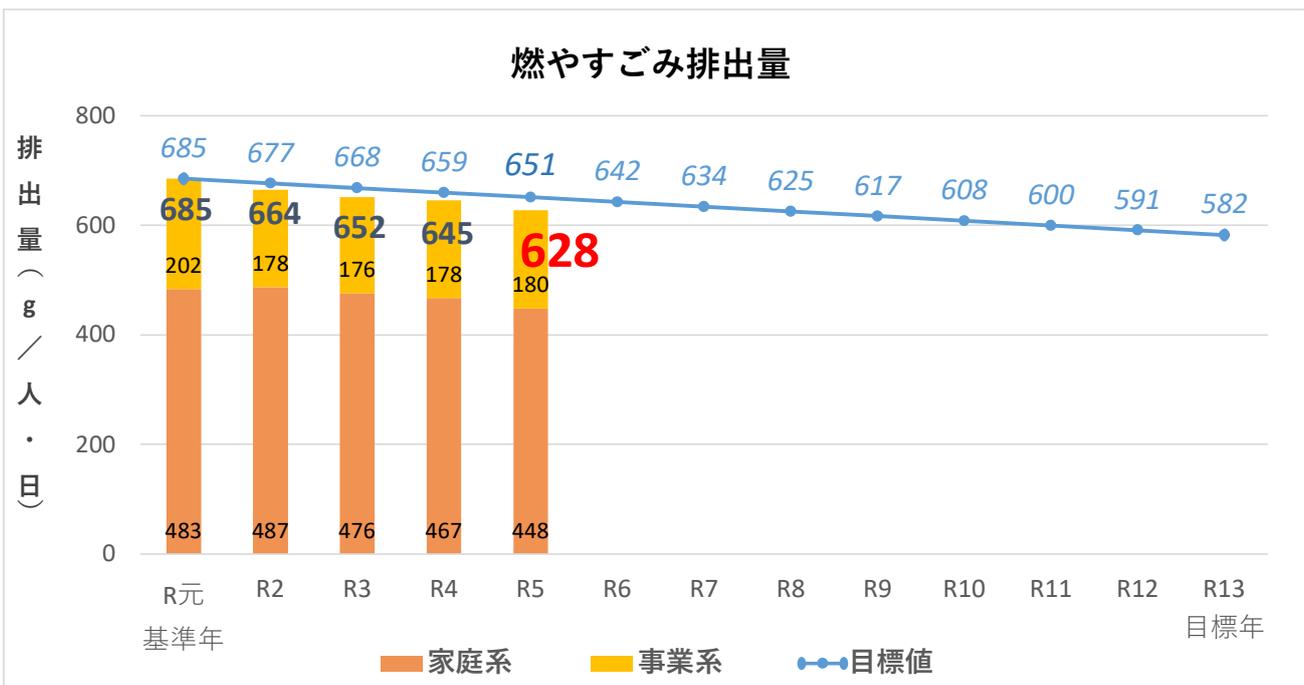
- ①グリーン購入の推進 ②美しいひこね創造活動
- ③不法投棄対策 ④漂着ごみ対策 ⑤バイオマス素材の導入
- ⑥新ごみ処理施設でのエネルギー回収

## 2 数値目標の達成状況

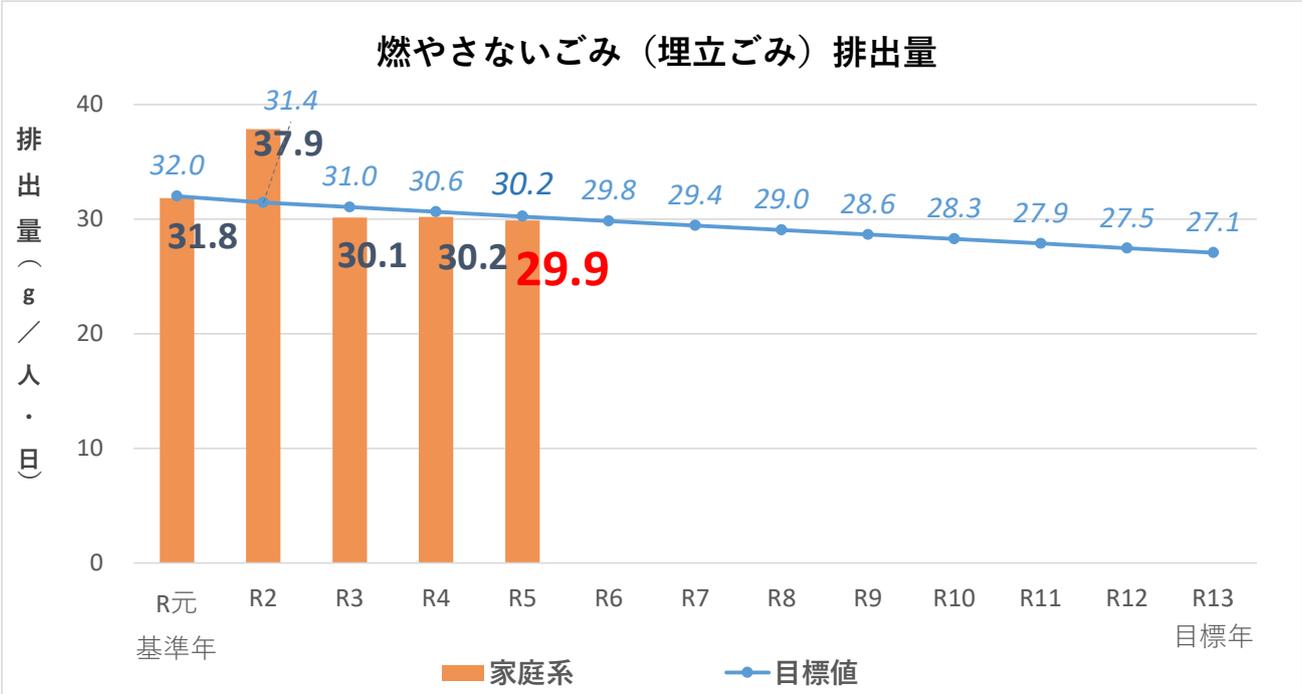
達成状況



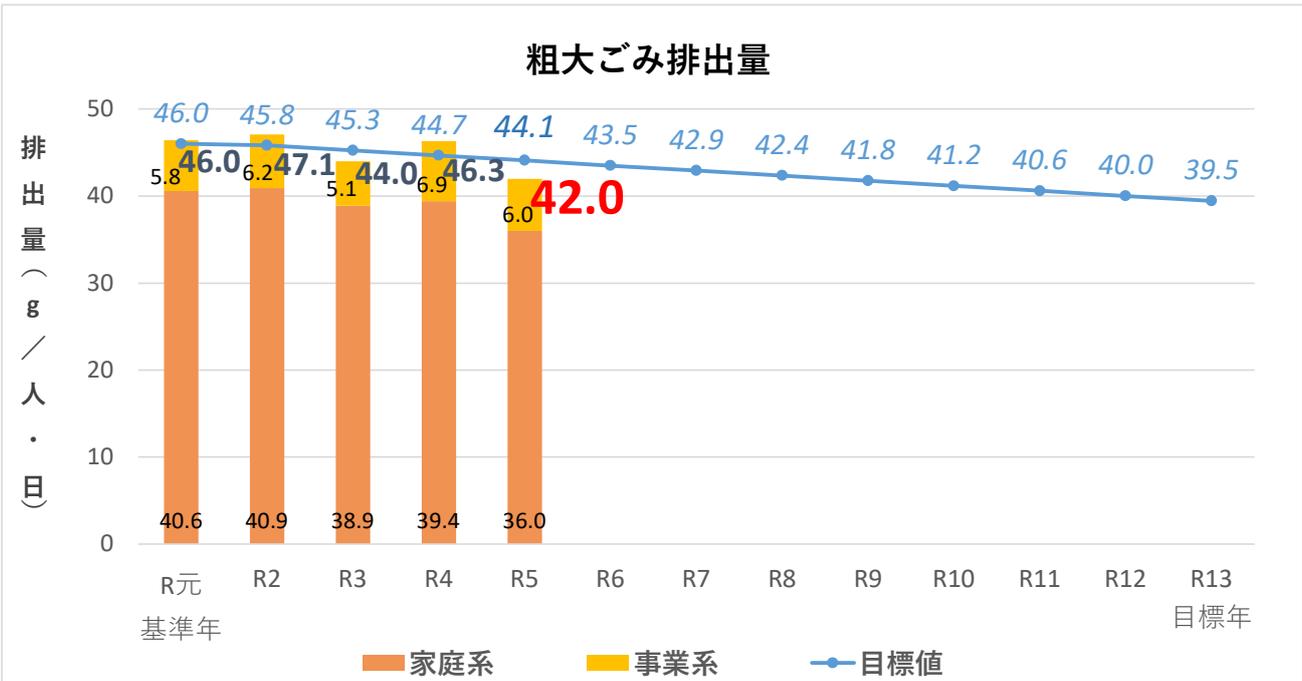
達成状況



達成状況 ○



達成状況 ○



※四捨五入の端数処理により、合計値が一致しない場合があります。

### 3 主な取組状況

#### ①生ごみおよび食品ロスの削減、3キリの周知啓発

～昨年度の審議会での意見～

- ・水切り器の配布は好評であったため、機会があればまた実施し、ごみ減量啓発に取り組んでほしい。
- ・水切り器の配布数が少なく、また、水切り器を受け取りに来られる方の中には、水切りを既に実践されている意識の高い方が含まれていることも考えると、この取組によってごみ減量の成果が出るのかどうかは疑問に思うところがある。
- ・水切り器の配布は、生ごみの減量を考えるきっかけとしては良い取組だと思う。
- ・水切り器は製品としては素晴らしいが、新しい製品を無料で配布することは、ごみの創出につながるので、例えば、マヨネーズの容器等で水切り器を作るなど、ごみを活用してごみを処理するような取組も紹介するとよい。

計画

- (1) ごみ減量に向けた方策
  - 1) □ 2) ■ 3)
- (2) ごみの分別、収集・運搬体制の適正化
  - 1) □ 2)
- (3) 環境教育・環境啓発、ごみ処理に係る情報提供
- (4) 環境負荷の削減

#### 彦根市ごみ削減推進協議会

生ごみを中心としたごみ削減に関する普及・推進を行うことを目的に、令和3年4月に発足。市内簡易生ごみ処理普及事業委託団体の代表者、市職員およびその他のメンバーで構成。

ポカシづくり体験会 8回



ポカシに関する出前講座 2回（8月、10月）



◎ポカシ…米ぬかやもみ殻などに有用微生物を混ぜ合わせたもの。生ごみ肥料化の材料となる。

バイオ式生ごみ処理機の視察（湖東広域衛生管理組合：豊郷町）



視察の様子



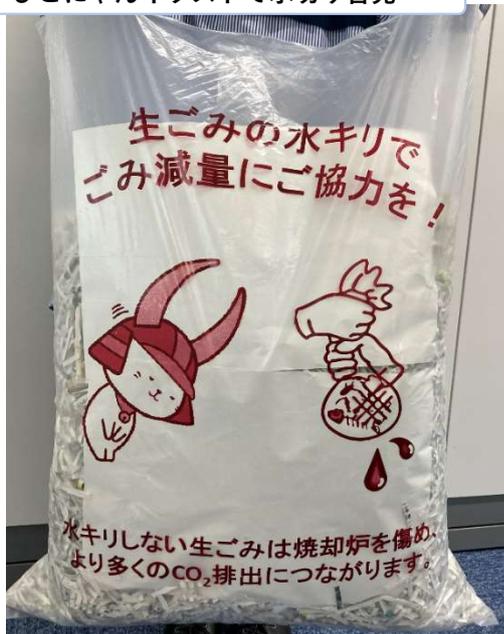
バイオ式生ごみ処理機

#### 簡易生ごみ処理普及事業委託団体

	R元	R2	R3	R4	R5
団体数	6	6	6	7	8

・指定ごみ袋での呼びかけ

ひこにゃんイラストで水切り啓発



・水切り方法をホームページに掲載

例) 「ペットボトルで水切りしてみよう！」

▶ ペットボトルで水切りしてみよう！

作製方法

用意するもの

- ・ ペットボトル (写真では500mlを使用)
- ・ カッター
- ・ ビニールテープ

※ペットボトルのほか、マヨネーズの容器などでも作成できます。





1. ペットボトルの先端を切ります。  
※作製時の怪我にはご注意ください。

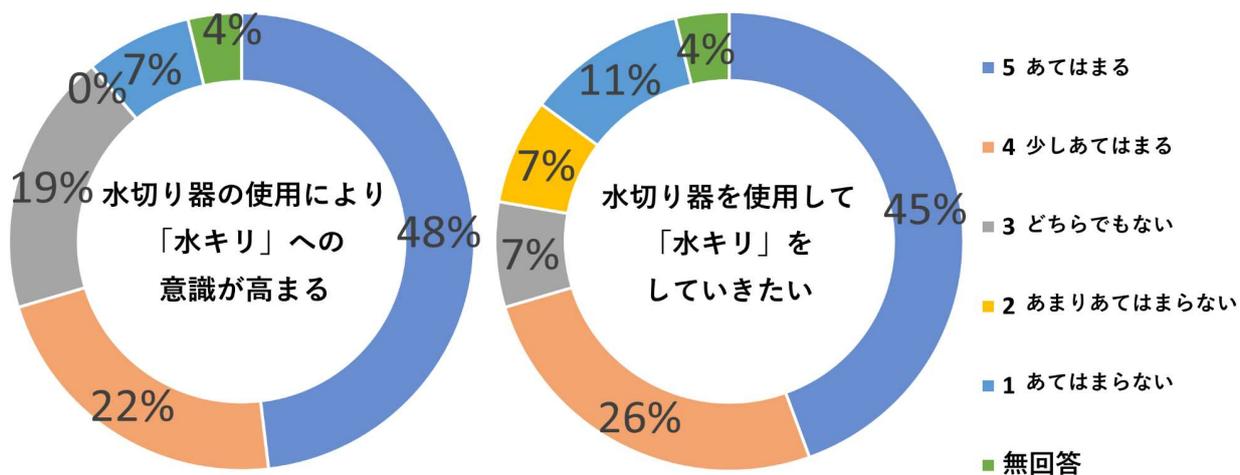
このような形になります。

・水切り器の作製・配布

湖東定住自立圏推進協議会 環境・ごみ処理部会 (彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町) で水切り器を作製し、窓口およびイベントや出前講座等で配布した。また、使用者に対してアンケート調査を実施した。



アンケート結果概要



【配布数】 51個 【回答者数】 27人  
【調査期間】 令和5年2月5日から3か月間

## ② 容器包装プラスチックの分別

### ～昨年度の審議会での意見～

- ・ 出前講座のみでなく、パンフレットや広報ひこね等でも繰り返しPRしてほしい。
- ・ 手選別作業削減のためにもさらなるPRをしてほしい。
- ・ 広報ひこねで具体的にわかりやすく伝える等の啓発が急務ではないか。
- ・ 焼却施設の現状や、焼却炉が停止した場合の不都合について市民に伝える必要がある。

### ■ (1) ごみ減量に向けた対策

- 1) □ 2) ■ 3)

### ■ (2) ごみの分別、収集・運搬体制の適正化

- 1) ■ 2)

### ■ (3) 環境教育・環境啓発、ごみ処理に係る情報提供

- (4) 環境負荷の削減

計画

### 広報ひこね (3月号) に特集記事を掲載

それ、分別しませんか？  
～自然を守り、森へつなぐ～

私たちの暮らしの中で発生するごみ。その多くは、もともと天然の資源を加工して作られた製品です。紙やプラスチック、金属などを分別して回収し、資源を有効に活用して木炭に生まれ変わらせます。また、製品の寿命が尽きたら、資源の多くを再利用して、環境への負荷を減らします。

多量のプラスチックの排出は地球温暖化をもたらし、人間だけでなく動物にも大きな影響を及ぼします。私たちの地球の未来を守っていくためには、資源を有効に活用して木炭に生まれ変わらせたプラスチックを再利用して、環境への負荷を減らします。

地球を守ろう ～今、世界の環境への動きは～

国連サミットで採択されたSDG(持続可能な開発目標)の目標12「つくる責任 つかう責任」には11種類のターゲットがあり、その中に「2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」という内容が盛り込まれています。

環境省では、「地球温暖化」がさらに進んで「地球温暖化」とも呼ばれるほど大きな問題になっていくと「プラスチック」の「リサイクルを促す」という行動計画(資源循環の推進)を掲げ、持続可能な社会づくりに取り組んでいます。

環境省では、「地球温暖化」がさらに進んで「地球温暖化」とも呼ばれるほど大きな問題になっていくと「プラスチック」の「リサイクルを促す」という行動計画(資源循環の推進)を掲げ、持続可能な社会づくりに取り組んでいます。

彦根市のごみってどれくらい？  
ごみ減量・資源化推進委員会(ごみ減) 事務局

彦根市のごみ処理施設のこれから

彦根市のごみ処理施設のこれから

彦根市のごみ処理施設のこれから

### チラシの配布 (市内郵便局やイベント等)

STOP! 「容器包装プラスチック」  
では、分別して資源にしよう

容器包装プラスチックとは

食べ物や飲み物を入れたり包んだりした、プラスチック製の容器や包装のことです。プラマークが目印ですが、ないものもあります。

バック類 トレイ類 カップ類 発泡スチロール類 紙製材 ボトル類 袋、フィルム類

軽く水洗いをして「容器包装プラスチック」へ

リサイクルで新しい製品に生まれ変わる!

「容器包装プラスチック」の分別を正しく、資源負荷の軽減につながります!

削減 削減 削減

ごみ処理費 削減 削減

お問合せ先 彦根市生活環境課 TEL: 0749-30-6116 FAX: 0749-27-0395

### それ、本当に燃やすごみ？ 容器包装プラスチックをキッチンと分別して資源にしよう

容器包装プラスチックとは？

プラスチック製でできた容器や包装のことです。

このマークが目印です。

このマークが目印です。

容器包装プラスチックに間違えられやすいもの

プラスチック製のコップ 文房具 歯ブラシ など

おもちゃ ハンガー ビデオテープ など

容器包装プラスチックの出し方3STEP

1. 正しく分別し中身を空にする!

2. 汚れのあるものは、水で軽くすすぎ、水切りをする!

3. 容器包装プラスチック指定専用袋に入れて出す!

容器包装プラスチックの行方

～家庭から出た容器包装プラスチックはどうなるの?～

作業の流れ

1. 破砕機 破砕機で破砕します。

2. 手選別 一つひとつ手作業で選別し、資源化できないものを取り除きます。

3. 圧縮梱包、出荷 再生資源に生まれ変わらせるため、圧縮梱包し、リサイクル事業者へ出荷します。

4. リサイクル事業者 リサイクル事業者で製品に加工されます。彦根市で排出された容器包装プラスチックは、「レット」に生まれ変わっています(前 20,000kg/月)。

interview

彦根市でごみの分別に熱心に取り組む、彦根市産業資源循環推進審議会の委員もされている加藤さんにお話を聞きました。

子どもたちの未来を、守ってほしい

「学生のころから環境問題には関心があったのですが、きっかけは、子どもが生まれたことかな」と語る加藤さん。それまでは自分自身の生活や未来のことは考えていたが、出産したことで、子どもたちの未来の環境についても考えるようになったと話す。『子どもたちが大人になったときに、良い未来を築いてほしい』と語った。

だから、分別を続ける

「このような環境にしているのは、私たちが大人だからではなく、子どもたちが生まれてから、環境を守ることが大切だ」と語る加藤さん。子どもたちが生まれてから、環境を守ることが大切だ。子どもたちが生まれてから、環境を守ることが大切だ。

未来のために、できることから少しずつ

最後に、加藤さんへ伝えたいことを聞きました。分別も大切ですが、包装材も減らしてあげてほしい。プラスチックを使用していない商品を選ぶことも一つの手段だと思っています。未来の環境は、良い物などの白物の行動を求められます。未来の環境は、良い物などの白物の行動を求められます。未来の環境は、良い物などの白物の行動を求められます。

### ③古紙・衣類の資源化

～昨年度の審議会での意見～

- ・転入者向けに店舗回収の案内を配布してはどうか。
- ・雑がみについて、市民が分別後の搬出しやすい回収方法も検討してほしい。

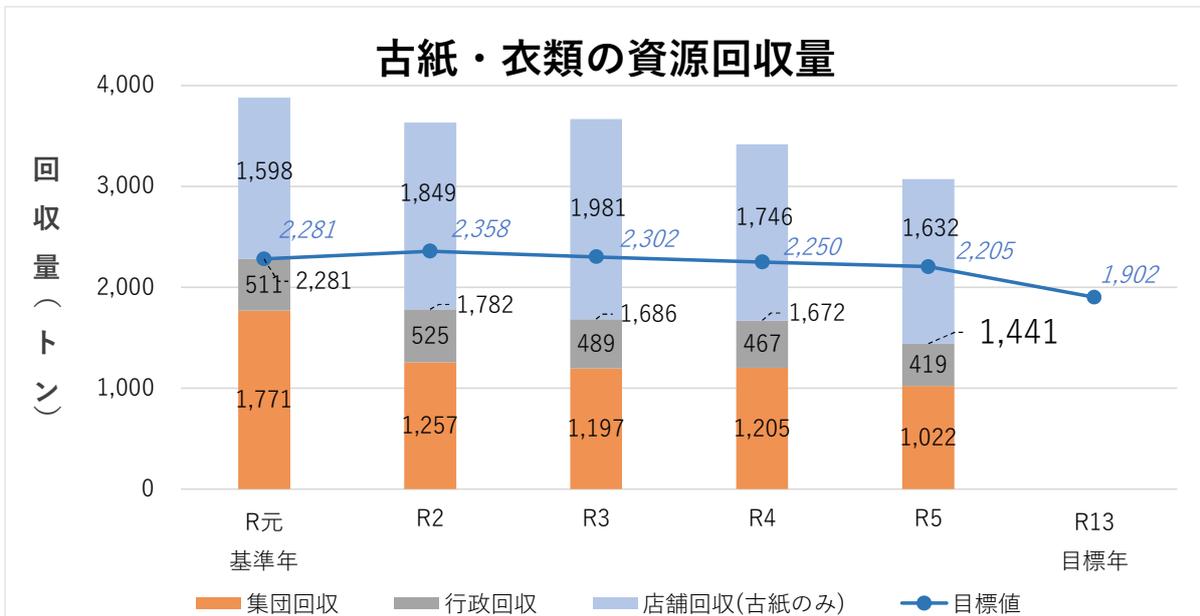
- 計画
- (1) ごみ減量に向けた方策
    - 1) □ 2) ■ 3)
  - (2) ごみの分別、収集・運搬体制の適正化
    - 1) ■ 2)
  - (3) 環境教育・環境啓発、ごみ処理に係る情報提供
  - (4) 環境負荷の削減

店舗回収を実施している店舗の一覧を記載したチラシを作成し、転入者への配布を開始（R5年12月から）

リサイクル活動推進事業奨励金を交付

集団回収を行う団体に対し、奨励金を交付。（回収重量1kgにつき2円）

対象：ダンボール、新聞紙、雑誌、繊維類、紙パックの計5品目



※目標値は、集団回収と行政回収の合計値に設定しています。

※店舗回収は、市外の利用者も含むため、参考値として記載しています。

### 雑がみ分別保管袋およびチラシの配布



## ④小型家電の回収

～昨年度の審議会での意見～

- ・小型家電や蛍光管は大切な資源であり、さらなる回収に努めてほしい。
- ・社会全体でリユースの市場を拡大していくという観点で言えば、家電量販店等による回収に出す方が良いのではないか。（リユース品を取り扱っている家電量販店もある。）

計画

- (1) ごみ減量に向けた方策
  - 1)  2)  3)
- (2) ごみの分別、収集・運搬体制の適正化
  - 1) ■ 2)
- (3) 環境教育・環境啓発、ごみ処理に係る情報提供
- (4) 環境負荷の削減

- ・宅配便による小型家電の回収を開始（R6年2月から）

令和6年2月に、「彦根市とリネットジャパンリサイクル株式会社との連携と協力に関する協定書」を締結し、家庭で不用になったパソコンの宅配便による無料回収、リサイクルを開始。

周知方法：チラシ、ホームページ、広報ひこね（3月号）

彦根市からのお知らせ

不要なパソコン  
小型家電を宅配便で回収しています。

1箱1,760円税込が  
パソコン本体を含むと **無料**

※ブラウン管(CRT)モニターは、処理等に費用がかかるため別料金となります。

小型家電リサイクルにご協力ください。

パソコンや携帯電話などの使用済小型家電には、貴金属やレアメタルといった有用金属がたくさん含まれており、リサイクル可能な貴重な資源です。この貴重な資源をもっと有効に活用するために、2013年4月から小型家電リサイクル法がスタートしています。彦根市では、国の認定事業者であるリネットジャパンリサイクル(株)と協定を締結し、便利で安心な宅配便による自宅回収を実施しています。回収を依頼する使用済小型家電にパソコンが含まれる場合は、回収料金が無料となります。貴重な資源のリサイクルにご協力ください。

回収方法

パソコンなどの小型家電  
宅配便による自宅回収

市では、国の認定事業者「リネットジャパンリサイクル(株)」と協定を締結し、宅配便によるパソコンを含む小型家電の自宅回収を実施しています。

違法回収業者は、**利用しないでください。**

宅配便がご自宅まで回収!

年中無休、最速翌日回収!

パソコンが入ると **無料!**

▼申込・詳細はコチラ  
リネットジャパン 検索  
<https://www.renet.jp/>

生活環境課、各支所出張所、関係機関等でのチラシ配布

令和5年度回収量

	回収件数	パソコン (台数)	携帯電話 (台数)	パソコン (kg)	携帯電話 (kg)	その他小型家電 (kg)	合計重量 (kg)
2月	18件	22台	17台	103.4 kg	1.9 kg	159.1 kg	264.4 kg
3月	48件	80台	24台	358.4 kg	2.7 kg	399.5 kg	760.6 kg
合計	66件	102台	41台	461.8 kg	4.6 kg	558.6 kg	1,025.0 kg

## ⑤ 適切なごみ処理の推進

～昨年度の審議会での意見～

・草・選定枝を大量に搬出される事業者に対し、適切な指導を行ってほしい。

□ (1) ごみ減量に向けた方策

□ 1) □ 2) □ 3)

■ (2) ごみの分別、収集・運搬体制の適正化

□ 1) ■ 2)

■ (3) 環境教育・環境啓発、ごみ処理に係る情報提供

■ (4) 環境負荷の削減

計画

### ・事業系ごみの適切な排出

事業系ごみの分け方や出し方をまとめた冊子を更新し、配布。



### ・各種美化活動の実施

不法投棄パトロール

ボランティア清掃のごみ回収および処理手数料免除

湖岸クリーンアップ事業（琵琶湖岸における清掃美化活動）

びわ湖を美しくする運動（湖東地区）※滋賀県との共催



松原浜での清掃

### ・ふれあい収集（ごみ出しの支援）

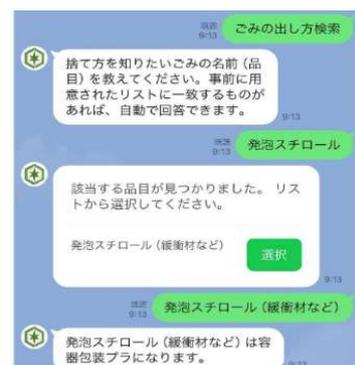
高齢者・障害者・年少者だけで構成される世帯で、自らごみを指定された集積所まで運ぶことが困難な場合に、自宅まで収集を行うサービス。

	R元	R2	R3	R4	R5
実施回数	33	61	89	136	141

### ・不法投棄およびボランティア清掃

	R元	R2	R3	R4	R5
回収量(トン)	23	25	30	24	24

### ・彦根市公式LINEによるごみの出し方等の情報提供開始（R6年2月から）



※ひこまち（アプリ）はR6年3月末で廃止

## ⑥ごみ減量に関する周知啓発

～昨年度の審議会での意見～

- ・「3キリ」、「雑誌」、「容器包装プラスチック」のチラシはわかりやすいため、郵便局以外にも活用してさらなる啓発を図ってほしい。
- ・ホームページの「今日からできるごみの減量と資源化」について、ホームページを見られない市民にも啓発してほしい。

### ■ (1) ごみ減量に向けた方策

- 1) ■ 2) ■ 3)

### ■ (2) ごみの分別、収集・運搬体制の適正化

- 1) □ 2)

### ■ (3) 環境教育・環境啓発、ごみ処理に係る情報提供

### ■ (4) 環境負荷の削減

計画

### ・民間企業との連携

無印良品ビバンティ彦根（店舗内）での啓発

店内啓発の一例



ポップ（水キリ）



ポップ（衣類のリサイクル）



ポスター（2種）

### ・ごみの減量に関する出前講座やイベントの実施

イベントや学園祭等への出展、啓発パネル設置、出前講座等

	R元	R2	R3	R4	R5
実施回数	7	0	9	6	8

※R2…新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から未実施。

湖風祭(滋賀県立大学)



みどりのカーテン講習会



自治会等への出前講座



びわこネイチャーフェスティバル(滋賀大学)



**令和6年度審議会意見  
および今後の方針**

## 1 彦根市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の概要

### 2 数値目標の達成状況

#### ～令和6年度の審議会での意見～

- ①小学生を対象とした出前授業を通じて、家庭におけるごみ減量につなげてほしい。
- ②ごみ等排出量の実績は数値目標を達成している状況であるが、その結果に甘んじることなく、さらなる減量に努めていただきたい。
- ③彦根市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画にも標榜している「ごみ処理費用有料化の検討」を進めるにあたっては、環境省が出している「一般廃棄物処理有料化の手引き」にもある「有料化の目的及び期待する効果」に示されている5つの目的から、彦根市としての目的を明確にして、進めなければならない。ただし、全世帯を一斉に有料化するのは負担が大きいのので、まずは、できる人から始めるような取組（焼却炉に負荷の少ないライスレジンを用いたごみ袋の試行等）を検討してはどうか。
- ④ごみ処理費用有料化による収入を、環境政策もしくはまちづくり施策等に有効に活かせるよう検討していくべきだと考える。
- ⑤燃やすごみとして焼却処理されているプラスチックのうち、ごみの指定専用袋の割合が多くを占めていると思われる。資源米を使用したライスレジン製のごみの指定専用袋を使用することにより、プラスチックごみの削減や焼却炉における燃焼カロリーの低減を図ってはどうか。
- ⑥新ごみ処理施設におけるエネルギー回収量を算出するためには、衛生処理場の更新の議論が不可欠である。小規模な改修工事を続けて現行の処理物をコンバインド方式の新施設に投入するか、あるいは、環境省の「地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業」を活用して、防災時電源として別の処理方式に更新するかを議論するべきではないか。
- ⑦資源のリサイクルを推進しても、利用されないと資源循環が回らない。リサイクル品やバイオマス製品等のグリーン購入について、さらに踏み込んだ施策を期待する。
- ⑧ごみの指定専用袋へのひこにゃんイラストを使用した水キリの啓発について、デザインを少しずつ変更して、雑がみの分別等の他の啓発にも利用してはどうか。

#### ～今後の取組方針～

- ①小学生を対象とした出前授業を通じて、ごみ減量の取組が子どもから家庭へ波及していくことが重要であると考えておりますので、今後も小学校と連携してまいります。
- ②現状の目標達成状況を鑑み、計画の目標に加え、前年度実績値を下回ることを目標とし、より減量できるよう取り組んでまいります。
- ③④⑤県内13市のうち約7割がごみ処理費用の有料化を実施している中、本市としましても、実施するにあたっては、目的および期待する効果を明確にしたうえで進める必要があると考えています。また、現在、彦根愛知犬上広域行政組合で進めている新ごみ処理施設の供用開始までに1市4町でのごみ処理手数料の統一を行う必要があることも踏まえ、料金体系や有料化の範囲、スケジュール等の検討を進めてまいります。

なお、ご提案いただいておりますライスレジンごみ袋（買い物袋）のような「できる人から始められるような取組」についても、研究してまいります。

⑥新ごみ処理施設でメタン発酵等のコンバインド方式が採用されれば、生し尿および浄化槽汚泥を直接投入できる施設となるよう協議を進めてまいりたいと思います。将来的に本市単独での処理を継続することとなる場合、公共下水道の普及により減少することとなる生し尿等を、本市単独で継続処理すべきか懸案事項となっています。財政状況の厳しい本市においては、県の浄化センターで受け入れていただけるよう協議を進め、また、バイオガス発電等の手法についても研究していきたいと考えております。

⑦グリーン購入について、周知を図り、推進してまいります。

⑧ごみの指定専用袋へのひこにゃんイラストを使用した水キリの啓発については、昨年度、開始したところであるため、本取組による効果がみられましたら、異なるデザインの作成による水キリ以外の啓発についても検討してまいります。

### 3 主な取組状況

#### ②容器包装プラスチックの分別

##### ～令和6年度の審議会での意見～

①JCV（認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会）が実施されているペットボトルキャップの回収等による世界の子どもたちへのワクチン支援活動に参加する自治体が減少している。ペットボトル回収拠点等でキャップの回収もしていただけると、分別回収意識の向上につながるほか、JCVによるワクチン支援になれば有意義である。

なお、市内にはペットボトルキャップを回収しJCVの活動等につなげておられる小学校があると聞いている。子どもたちやその家族が取り組むことで、分別への意識向上にもつながると考えられるため、回収していない小学校に呼びかけ、取組を促進してほしい。

②広報ひこねの特集記事は、分かり易く、効果があると思う。継続的に広報することで周知が図れる。

##### ～今後の取組方針～

①本市として、ペットボトルキャップを分別回収することは、コスト面等からも困難ですが、容器包装プラスチックとして分別回収し、資源化に取り組んでまいります。

なお、市内小学校でのペットボトルキャップの回収実施については各校の判断となりますが、分別意識向上につながる取組例の一つとして、紹介してまいります。

②容器包装プラスチックの分別回収、資源化については、今後も様々な機会を捉えて、周知してまいります。

### ③古紙・衣類の資源化

#### ～令和6年度の審議会での意見～

- ①リサイクル可能な古紙が燃やすごみとして出されているのをよく見かける。広報ひこね3月号や啓発チラシ等で、さらなる周知が必要である。
- ②自治会等での資源回収は、軽トラックを所有している方の減少等の理由で、今後、減少していくことが予想されるので、店舗回収していただける店舗が増えるように働きかけてほしい。
- ③雑がみ分別保管袋配布の効果があるのであれば更に多く作成して配布し、回収場所も増やしてほしい。市民の分別意識が高まれば回収量の増加が期待できる。
- ④雑がみのリサイクルも資源の有効活用につながるため、市民全体で取り組めるようになるとよりよい。
- ⑤古紙等の店舗回収一覧は、転入者にとってわかりやすいが、市ホームページに掲載されているペットボトルの回収拠点について、地図で示されているとわかりやすい。
- ⑥店舗回収実施店舗一覧のチラシに、古紙類だけでなくペットボトルや食品トレイの回収状況もリスト化するとわかりやすい。
- ⑦雑がみや容器包装プラスチック等の分別や資源化について、まだまだ知らない市民が多い。広報ひこねへの掲載やチラシの配布だけでなく、市民の集まる場等で直接伝える形での周知、啓発も行ってほしい。
- ⑧分別や資源化について、市民が楽しみながら学んでもらえるような内容となるよう手法を検討してほしい。

#### ～今後の取組方針～

- ①古紙のリサイクルについては、引き続き、店舗回収一覧チラシ等を活用し啓発してまいります。
- ②店舗回収については、各店舗が、「店舗利用者からの需要があるか」、「設置場所が確保できるか」、「設置・運用に支障はないか」などの条件を検討のうえ、来店動機や環境・地域貢献によるイメージ向上、有価物としての収益性などのメリットや、禁忌品・ごみの混入や分別ルールに従った排出をしていただけるかなどのデメリットも勘案して実施の判断をされており、行政からの働きかけによって実施を検討されるものではありませんが、今後、店舗回収の意義に賛同された店舗が増え、回収店舗が増えるとよいと考えています。
- ③④雑がみ分別保管袋は、雑がみの分別、資源化を啓発するためのツールの一つとして作成したものであり、利用者からもイラストの記載がわかりやすく、分別しやすい等の意見をいただいておりますが、追加作成については、費用対効果を考慮し、今後、検討してまいります。  
また、古紙の回収場所を増やす場合は、車両や人員を増やす必要がありますので、引き続き、行政回収、資源回収および店舗回収の周知に努めてまいります。
- ⑤ペットボトルの回収拠点は、申請当初と設置位置が大きくズレている場合があるため現況確認を要するほか、市内に多数(332か所)ありますので地図に記載することは容易ではありませんが、彦根市の地図情報システムである「彦根まっぷ」を利用できないか担当課と協議してまいります。
- ⑥店舗回収実施店舗一覧のチラシにつきましては、今回、ペットボトルの欄を設け改良しました。なお、現在、外国語版の作成も検討中です。
- ⑦⑧分別や資源化については、出前講座を中心に人が集まる機会を捉え、周知、啓発していくほか、楽しみながら学んでいただけるような方法を研究してまいります。

## ④小型家電の回収

### ～令和6年度の審議会での意見～

①不要なパソコン、小型家電を宅配便で回収する「リネットジャパンリサイクル」との連携を開始したことは評価できる。今後、リユースに関する事業者である「おいくら」や「ジモティー」との連携も検討していただきたい。

### ～今後の取組方針～

①家庭で不要になった物のリユースを推進するため、リユース事業を実施されている事業者等との連携を検討してまいります。

## ⑤適切なおみ処理の推進

### ～令和6年度の審議会での意見～

①ふれあい収集のニーズは今後も増えていくと思うので、引き続き、対応をお願いしたい。

②そもそもポイ捨てする人がなければ湖岸等の清掃をする必要はないので、「彦根市ごみの散乱およびふん害のない美しいまちづくり条例」における罰則を強化する等の見直しも含め、ポイ捨てさせないための方策を検討してほしい。

③現在、埋立ごみとして出されたものの一部は資源化等されているが、指定袋は「埋立てごみ指定専用袋」と記載されているため、一部資源化されている旨を注記するか、「燃えないごみ」などの記載に変更するなど現状に即した標示にしていきたい。さらに、金属類と陶器・ガラス類は回収日を分けるか、回収袋を分けて回収できれば収集後の分別もしやすいのではないかと。

④業として木の幹、剪定枝を排出している事業者には民間処理事業者へ誘導すべきではないか。それを地道に続けることで、地域の民間処理事業者が育成され、将来的には広域処理でのリサイクル事業の全品目民間委託へ繋がってゆく。

まずは事業系一般廃棄物の収集運搬や処理事業者、事業内容や特色を、ホームページ等で一覧にするなど、分かりやすく掲載してほしい。

### ～今後の取組方針～

①ふれあい収集は、高齢または障害等の理由により自らごみ集積所へ持ち出すことが困難な世帯に対し、市が戸別にごみを収集するものです。これは、対象世帯の負担を軽減し、在宅生活を支援するとともに、ごみ出しの有無により安否の確認ができる制度です。年々高齢化が進みごみ出しが困難な世帯が増え、ニーズが高まっていくと考えられますので、引き続き対応してまいります。

②「彦根市ごみの散乱およびふん害のない美しいまちづくり条例」の罰則適用に至った事例はこれまでにありませんが、まずは、本条例の再周知に努め、彦根市が市民等によるポイ捨てのないまちとなるよう取り組んでまいります。

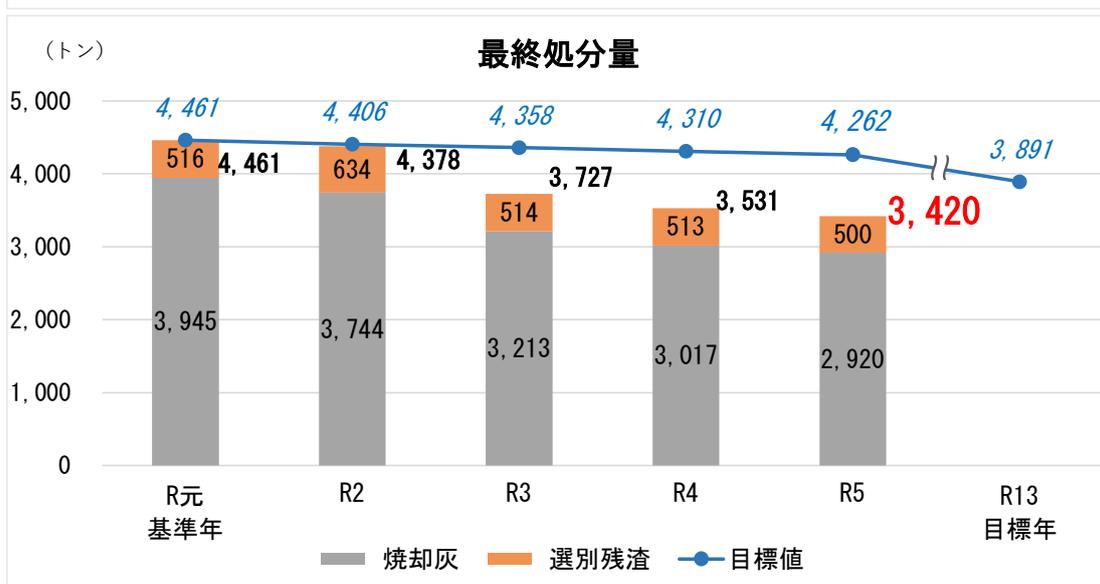
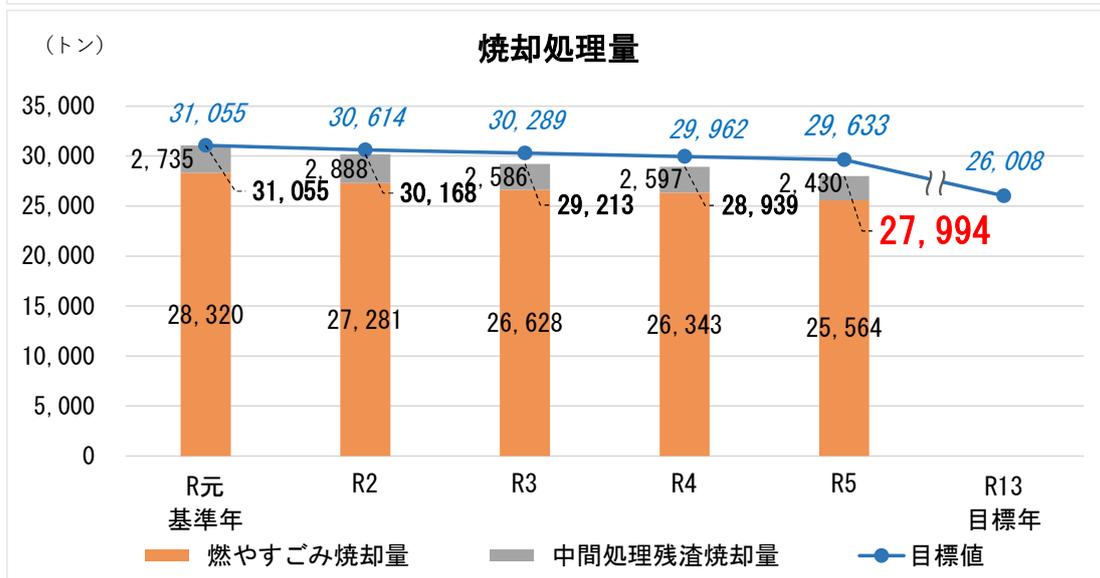
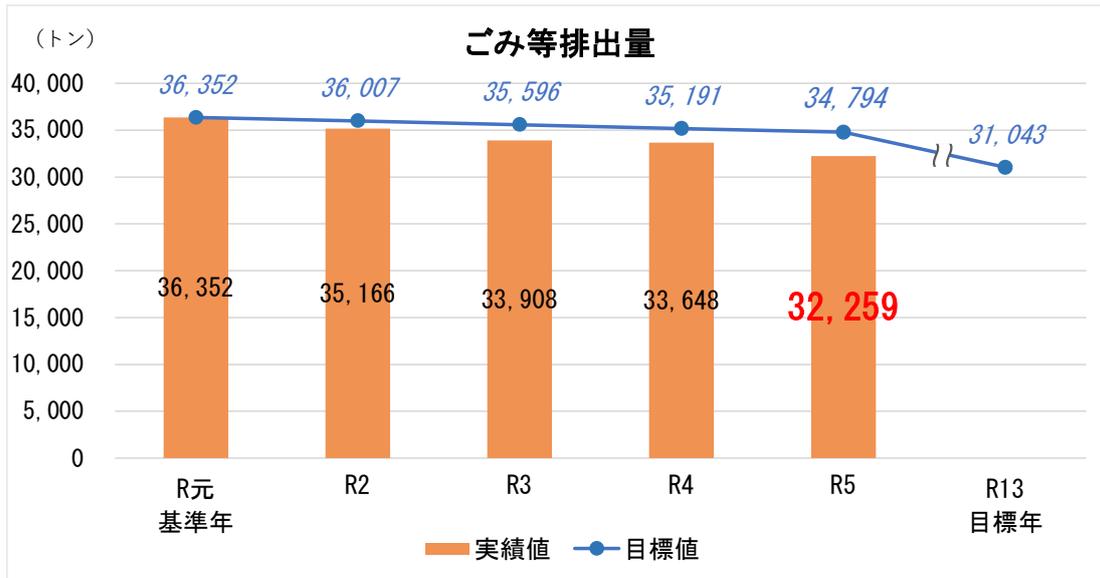
③指定袋（埋立ごみ）への資源化されている旨の追記については、スペースの関係上難しいですが、市民のごみ分別意識向上のため、周知してまいります。また、金属類と陶器・ガラス類の分別回収等については、コストの面から実施は難しく、埋立ごみの中継施設である小八木中継基地においてもスペースの関係上、同じストックヤードで保管後、民間施設へ搬入されています。しかしながら、資源化率向上のため、本市に即したより良い方法を模索してまいります。

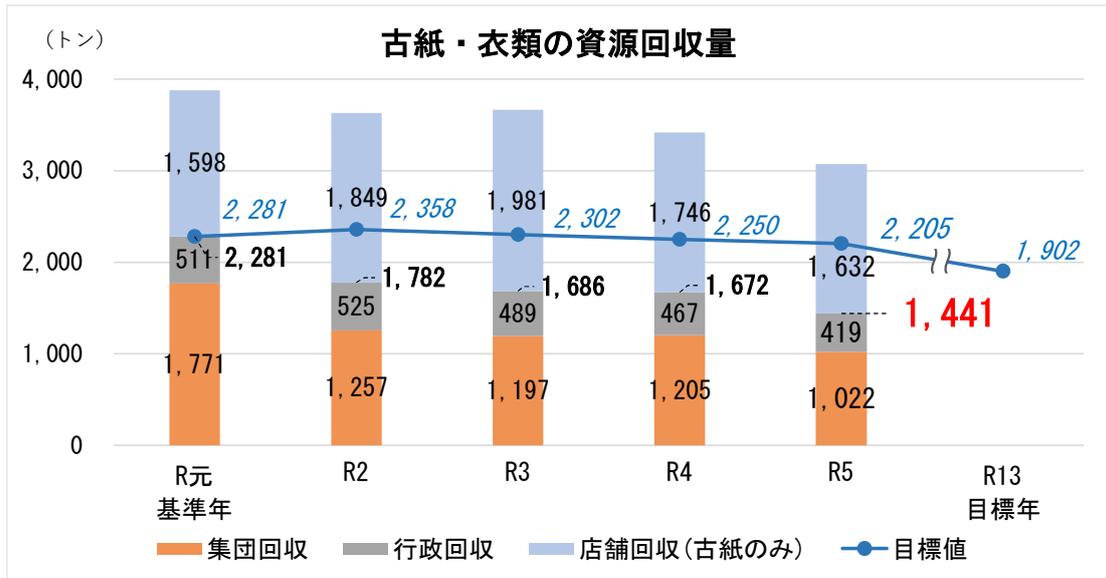
④事業者情報の掲載については、市ホームページに事業者のホームページのリンクを設定するなど、方法を検討いたします。



# 資料編

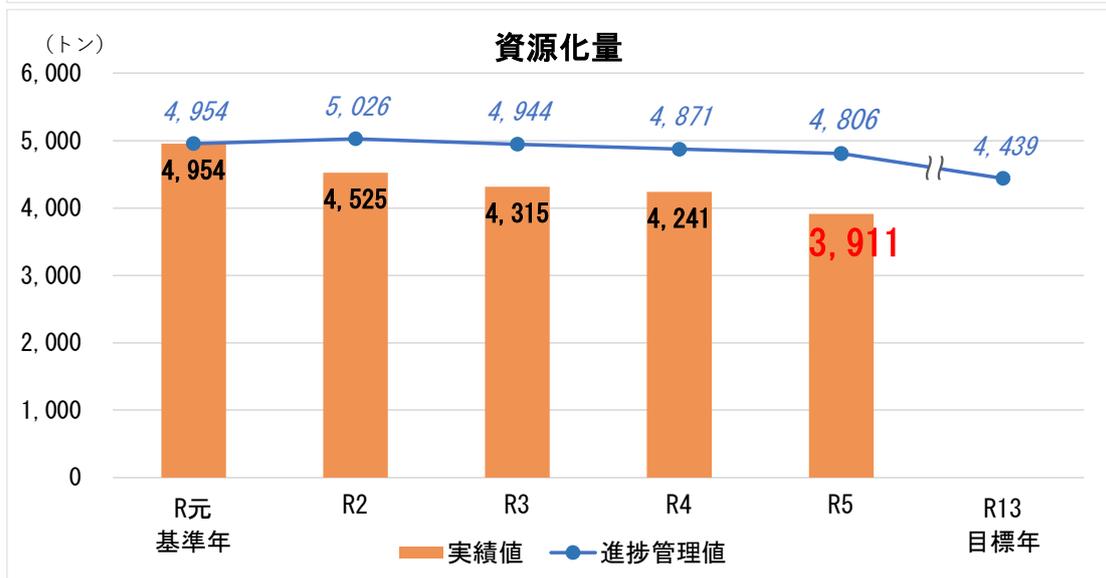
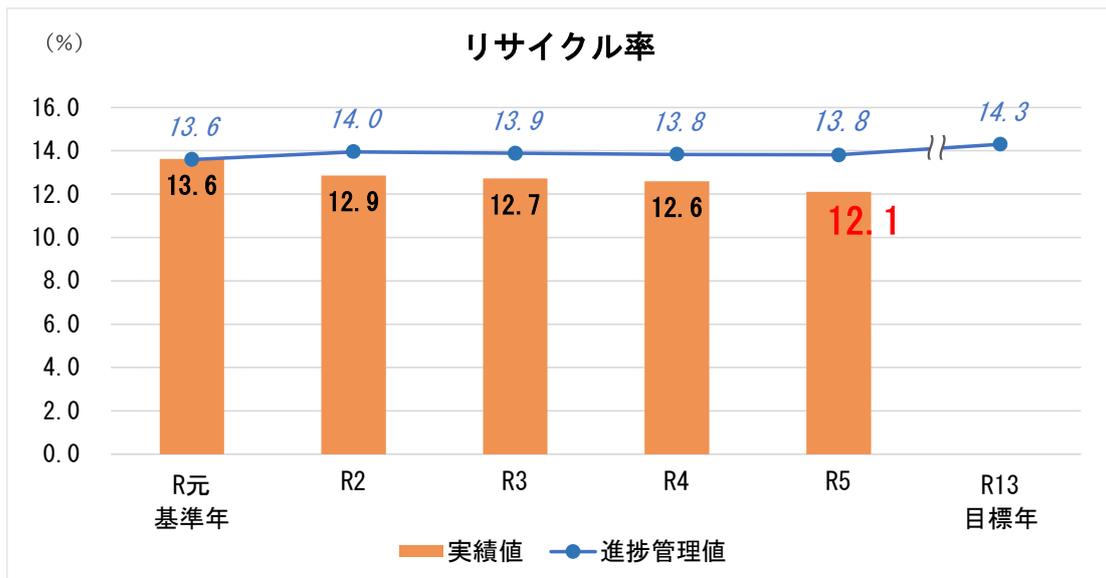
◎ごみ処理状況に関する指標の推移（過去5年）





※目標値は、集団回収と行政回収の合計値に設定しています。

※店舗回収は、市外の利用者も含むため、参考値として記載しています。



◎ごみ種別排出量推移

(単位：トン)

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
燃やすごみ	28,320	27,281	26,628	26,343	25,564
容器包装プラスチック	947	975	983	939	891
埋立ごみ	1,316	1,554	1,232	1,233	1,217
缶・金属類	261	295	267	252	266
びん類	818	809	763	763	682
粗大ごみ (小型家電含む)	2,142	2,193	2,051	2,101	1,897
ペットボトル	225	237	260	309	263
使用済乾電池	26	26	24	23	23
廃食用油	12	12	12	10	10
使用済蛍光管	4	3	4	5	4
古紙・衣類 (行政回収)	511	525	489	467	419
古紙・衣類 (集団回収)	1,771	1,257	1,197	1,205	1,022
ごみ等排出量	36,352	35,166	33,908	33,648	32,259
古紙・衣類 (店舗回収)	1,598	1,849	1,981	1,746	1,632

(単位：人)

人口 (10月1日時点)	112,928	112,480	111,972	111,835	111,254
--------------	---------	---------	---------	---------	---------

◎ごみ処理フロー（分別区分別(11種類)）

